

1. 調査の目的

県民の生活の実感や県政への関心をはじめ、県の広報、当面する県政の課題や各種施策に対する意識などを把握し、今後の県政の運営と施策立案のための参考資料として活用する。

2. 調査項目

- (1) 県民の生活実感と政治や経済への関心
- (2) 県の広報
- (3) 住み良さの評価
- (4) 県の施策に関する意識・実態

3. 調査設計

- (1) 調査地域 山口県全域
- (2) 母集団 20歳以上の男女個人
- (3) 標本数 3,000
- (4) 抽出方法 層化二段無作為抽出
- (5) 調査方法 郵送法（調査期間中に督促状を1回発送）
- (6) 調査時期 2010年6月4日（金）～6月21日（月）

4. 回収結果

有効回収数（率） 1,851（61.7%）
規正標本数 4,011（※）

（※）規正標本数

本調査では、地域別に十分な集計・分析が可能な回収数を確保するため、あらかじめ、抽出時に人口比の低い内陸山間地域及び日本海沿岸地域の抽出率を3倍に設定した（6. サンプル・デザイン参照）。そのため、回収結果全体では両地域の結果が実際よりも大きく反映することになる。これを補正するために、瀬戸内海沿岸地域の標本に3倍の加重をし、規正標本数をもって集計、分析を行った。

なお、各集計項目の「N」は規正標本数を示す。

5. 報告書の見方

- (1) 本文及び図中に示した調査結果の数値は百分比（%）で示してある。これらの数値は小数点以下第2位を四捨五入しているため、全項目の回答比率の合計が100.0%とならない場合がある。
- (2) 複数の回答を求めた質問では、回答比率の合計が100.0%を超えることがある。
- (3) 報告書中の図表では、コンピューター入力の都合上、回答選択肢の表現を短縮している場合がある。

6. サンプル・デザイン

◎地点数 : 市部 95 地点、町部 6 地点 合計 101 地点

【層化】

1. 県内の市町を単位として、次の3地域に分類した。

地域区分	市町名称
瀬戸内海沿岸地域	下関市※1、宇部市、山口市※2、周南市、防府市、下松市、岩国市※3、山陽小野田市、光市、柳井市、周防大島町、和木町、上関町、田布施町、平生町
内陸山間地域	下関市（旧菊川町及び旧豊田町）、岩国市（旧玖珂町、旧本郷村、旧周東町、旧錦町、旧美川町及び旧美和町）、山口市（旧阿東町）、美祢市
日本海沿岸地域	萩市、長門市、下関市（旧豊浦町及び旧豊北町）、阿武町

※1 旧菊川町、旧豊田町、旧豊浦町及び旧豊北町を除く。

※2 旧阿東町を除く。

※3 旧玖珂町、旧本郷村、旧周東町、旧錦町、旧美川町及び旧美和町を除く。

2. 各地域において、さらに市郡規模によって、次のように分類した。

- ① 人口 10 万人以上の市
- ② その他の市
- ③ 町部

【標本数の配分】

各地域・市郡規模別の層における 20 歳以上の人口（平成 17 年国勢調査）により、3,000 の標本数を次ページの表のとおり配分した。

瀬戸内海沿岸地域の構成比は、全県推定母集団の 8 割以上に及び、他の 2 地域は各々 1 割に満たない。単純に母集団構成比に応じた標本数の配分を行った場合、内陸山間地域及び日本海沿岸地域においては、回収ベースで分析可能な標本数を確保できない可能性がある。したがって、両地域の抽出率をあらかじめ 3 倍に設定した標本配分を行っている。

【抽出】

1. 平成 17 年国勢調査の基本単位区を、第一次抽出単位として使用した。
2. 調査地点については、まず各層ごとに 1 調査地点あたりの標本数が 30 程度になるように調査地点数を算出し、層ごとに

$$\left[\frac{\text{層における利用可能な推計人口の合計}}{\text{層で算出された調査地点数}} \right] = \text{抽出間隔}$$

を算出、続いて等間隔抽出法によって該当人数番目の対象者が含まれる基本単位区を抽出し、抽出の起点とした。

3. 抽出に際しての各層内における市町の配列順序は、「市区町村コード一覧」（総務省設定）に従った。
4. 調査地点における対象者の抽出は、調査地点の範囲内（町・丁目・番地等を指定）の選挙人名簿から等間隔抽出法によって抽出した。

以上の結果、各地域・市郡規模別（層別）の標本数・調査地点数は次のようになる。（内陸山間及び日本海沿岸地域の標本数は、単純比例配分の場合よりも多くなっている。）

【各地域の標本数と調査地点数】

地域	区分	10 万人以上の市	その他の市	町部	合計
瀬戸内海沿岸地域	母集団	808,024	171,653	52,453	1,032,130
	標本数	1,517	322	99	1,938
	地点数	48	11	5	64
内陸山間地域	母集団	49,563	24,902	0	74,465
	標本数	279	140	0	419
	地点数	10	5	0	15
日本海沿岸地域	母集団	26,987	83,584	3,613	114,184
	標本数	152	471	20	643
	地点数	5	16	1	22
県全体	母集団	884,574	280,139	56,066	1,220,779
	標本数	1,948	933	119	3,000
	地点数	63	32	6	101